

特許技術が水産業界に新たな風を吹かせる



マリンドローンFPV

特許第7017821

**革新的な特許技術により、水上バイクが水産関係者の業務を効率化し、安全性を向上させる
未来の海上監視と物流がここに！水上バイクのラジコン化と自動運転で水産業界を変える**

マリンドローンの問い合わせ先 <https://marinedrone.jp/>

発表日 = 2023年06月01日 住所 = 〒700-0026 岡山県岡山市北区奉還町2-8-15 会社名 = 一般社団法人 日本マルチコプター協会]は、水産業界における大変革の予感をもたらす特許技術の開発を発表しました。この特許技術は、水上バイクを革新的にラジコン化（遠隔操作+映像転送）し、遠隔操作と自動運転を組み合わせたものであり、水産関係者の業務を効率化し、安全性を向上させることに注目が集まっています。



・密漁監視にも～

8時間自動航行+暗視カメラ+赤外線カメラ = 監視&パトロール

水産業界における監視と管理は、従来の方法では多くの制約とリスクを伴っていました。しかし、この特許技術により、水上バイクのラジコン化が可能となり、水産関係者はリアルタイムで遠隔地からの監視を行うことができます。夜間や悪天候下でも効果的な監視が可能となり、密漁監視や養殖管理などの業務が円滑に進行します。



・養殖管理～ 育成状況把握+水中カメラ 自動航行+えさやりの業務（人的コスト削減）

さらに、自動運転機能を組み合わせることで、水上バイクの無人化が実現します。これにより、養殖プールの巡回やえさの補給、海上物流の自動化が可能となり、労働力の削減と業務の効率化が実現されます。悪天候時でも自動航行するため、物流の滞りを最小限に抑え、迅速なサービス提供が可能となるでしょう。



・小型船舶のDX化

この特許技術の登場により、水産関係者は未知の領域へと進化します。小型船舶のラジコン化と自動運転によって、水産業界は革新的な進歩を遂げ、効率的で持続可能な発展を達成することが期待されます。



この特許技術は、水産業界における新たなビジネスチャンスをもたらします。小型船舶の遠隔操作とFPV化と自動運転によって、水産関係者は業務の効率化や作業の安全性向上を実現できます。また、特許技術の応用範囲は水産業界にとどまらず、観光業界や環境保護活動など他の産業や用途にも広がる可能性があります。

・観光から海洋調査まで～

この特許技術によって、観光業界では安全かつ楽しい体験を提供するための新たなツールとして水上バイクが活用されるでしょう。また、環境保護活動においては、自動運転技術を応用して海洋ごみの収集や海洋生態系のモニタリングを行うことができ、海洋環境の保護に寄与します。

・海上輸送や救助にも転用

水上バイクの新技术は、水産関係者以外の読者にも興味深い情報となります。この特許技術の存在と具体的な使用用途が示されることで、他の産業や用途における可能性や応用の幅広さが伝わるでしょう。

特許技術による水上バイクの革新的なラジコン化と自動運転が水産業界に新たな風を吹かせます。この技術により、水産関係者は業務の効率化と安全性向上を実現し、さらなる発展を遂げることが期待されます。また、他の産業や用途への応用も可能であり、観光業界や環境保護活動にも革新的なアプローチをもたらすでしょう。この特許技術の登場により、水産業界は未知の領域へと進化し、効率的で持続可能な発展を達成することが期待されます。





特許証
(CERTIFICATE OF PATENT)

特許第7017821号
(PATENT NUMBER)

発明の名称
(TITLE OF THE INVENTION)

水上監視システム

特許権者
(PATENTEE)

岡山県岡山市北区奉還町二丁目9番16号
一般社団法人日本マルチコプター協会

発明者
(INVENTOR)

工藤 政宣

出願番号
(APPLICATION NUMBER)

特願2021-123477

出願日
(FILING DATE)

令和 3年 7月14日(July 14, 2021)

登録日
(REGISTRATION DATE)

令和 4年 2月 1日(February 1, 2022)

この発明は、特許するものと確定し、特許原簿に登録されたことを証する。
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE PATENT IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

令和 4年 2月 1日(February 1, 2022)

特許庁長官
(COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)

森

